

モントゥー、E・クライバー、クリュイタンス、ギーレン
歴史上の指揮者が音楽監督を務めたベルギーの名門オーケストラ

ベルギー国立管弦楽団

指揮

ミッコ・フランク

© Christophe Abramowitz/Radio France

ピアノ

亀井聖矢*

© Junichiro Matsuo

© Marin D

2026

11.1

日 15:00開演(14:00開場)

倉敷市民会館

ブラームス

ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83*

ドヴォルザーク

交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

SS席 18,000円 | S席 15,000円 | A席 13,000円 | B席 11,000円 | C席 9,000円(全席指定・税込)

- イープラス ● チケットぴあ(Pコード:329-037) ● ローソンチケット(Lコード:62465)
- 倉敷市民会館(TEL 086-425-1515)
- 岡山芸術創造劇場ボックスオフィス(TEL 086-201-2200 10:00~18:00)
- 岡山音協(TEL 086-224-6066 平日9:00~17:00)



後援 駐日ベルギー大使館

日本・ベルギー友好160周年記念公演

※未就学児入場不可 ※チケットの転売は固くお断りいたします。
※曲目・曲順・出演者等が変更になる場合がございます。ご了承ください。
※車椅子席をご希望の方は、テレビせとうちにお電話でお申込みください。

主催:テレビせとうち 共催:倉敷市民会館

お問い合わせ:テレビせとうち 事業コンテンツ部 TEL 086-803-7017(平日10:00~17:00)

エリザベート王妃国際コンクールの感動を再び！ ベルギーの名門オーケストラ来日

歴史上の錚々たる指揮者が音楽監督を務め、最近でもユーリ・シモノフ、ミッコ・フランク、アンドレイ・ボレイコ他現代における楽壇で最も活躍する指揮者を配する名オーケストラ。世界で最も権威のあるとされるエリザベート王妃国際音楽コンクールでも決勝での伴奏を担うベルギー国立管弦楽団が2026年秋に来日します。

1936年にベルギー政府管轄の国営オーケストラとなって政府の助成金を受け、毎年70回程度の演奏会をベルギー内外で行い国際的な活躍の場を広げており、古典作品から現代音楽を通して幅広いファンに支えられるオーケストラが母国の威信をかけて荘厳なサウンドをお届けします。



ベルギー国立管弦楽団 Belgian National Orchestra

1832年に母体となる管弦楽団が結成され、長く活動した後1936年にベルギー政府管轄の国営オーケストラとして創設。ベルギーの首都ブリュッセルの名ホール、ボザールを本拠地として年70回程の演奏会をベルギー内外で行っている。設立当初よりピエール・モントゥー、エーリッヒ・クライバー、アンドレ・クリュイタンス、ミハエル・ギーレンなどの巨匠指揮者が音楽監督を務め、近年はユーリ・シモノフ、ミッコ・フランク、アンドレイ・ボレイコが引き継いでいる。2022年からアントニー・ヘルムスが首席指揮者に就任。これまでに、ヒラリー・ハーン、セルゲイ・ハチャトゥリアン(ヴァイオリン)、レイフ・オヴェ・アンドスネス、ヴィングル・ウラフソン(ピアノ)、トーマス・ハンブソン(バリトン)、といった著名なソリストたちと共演するほか、エリザベート王妃国際コンクールのファイナリストと定期的に共演を行っている。2026年秋、日本とベルギー友好160周年を記念しておよそ20年ぶりに来日する。

<https://www.nationalorchestra.be/en>



ミッコ・フランク (指揮) Mikko Franck, Conductor

1979年ヘルシンキに生まれ、17歳で指揮デビューを果たした。ベルギー国立管弦楽団やフィンランド国立歌劇場の音楽監督などを歴任し、2015年にフランス放送フィルの音楽監督に就任、数多くのツアーも行っている。2017年からはローマ・サンタ・チェチーリア国立管の首席客演指揮者でもある。クリアかつ情熱的な指揮で、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、シカゴ響、クリーヴランド管などに客演、ウィーン国立歌劇場では《トリスタンとイゾルデ》《サロメ》《オテロ》《トスカ》などを指揮している。近年ではバンベルク交響楽団とのツアーや東京交響楽団への客演で来日した。ミッコ・フランクとフランス放送フィルは、ユニセフ大使を務めている。



亀井聖矢 (ピアノ) Masaya Kamei, Piano

2022年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。2025年、エリザベート王妃国際コンクールにて第5位を受賞。2019年、日本音楽コンクール第1位、及び聴衆賞受賞。同年、ビティナ特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞を受賞。これまでに、ワルシャワフィル、ブダペスト響、N響、読響など国内外のオーケストラと多数共演。2022年12月に1stフルアルバム『VIRTUOZO』をリリースし、「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。2026年3月には、『サン＝サーンス/ピアノ協奏曲第5番「エジプト風」&ショパン/ピアノ協奏曲 第1番』のライブ録音がリリース。また、「情熱大陸」「題名のない音楽会」などメディアでも多数取り上げられるなど、今もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。

<https://www.masaya-kamei.com/>



Platinum Sponsor

